

心の復興音楽基金 御中

2013年7月15日

NPO法人「日本の道」 竹森道夫

東日本大震災 第5回岩手県大槌町支援 実施報告

下記の通り、実施いたしましたので報告いたします。

1. 日 時 2013年6月15日(土)～16日(日)
2. 会 場 大槌町役場・多目的会議室
シーサイドタウン MAST
3. 演奏者 井川明彦 (NHK 交響楽団トランペット奏者)
安藤友樹 (東京フィルハーモニー交響楽団トランペット奏者)
今井仁志 (NHK 交響楽団ホルン首席代行)
吉川武典 (NHK 交響楽団トロンボーン奏者)
池田幸広 (NHK 交響楽団チューバ奏者)
竹森かほり (元東京シティ・フィル団員、東京都立総合芸術高校非常勤講師)
4. 同行者 竹森道夫 (NPO法人「日本の道」ボランティア・スタッフ)
(丸谷博男 NPO「NPO日本の道」理事長、竹森耕平/ドラム奏者、近藤裕隆/ドライバー)
5. 内 容 コンサートとクリニック
6. 対象者 大槌町の人びと 他県自治体からの応援 (正式名称・派遣)職員
大槌ウインド・オーケストラ 計 670名

震災の年の6月、大槌中学校吹奏楽部に楽器を寄贈したことを契機に中学吹奏楽部のクリニックとコンサートを行ってきたが、今回、碇川 豊大槌町長の希望で、他府県の自治体から送り込まれている約120名の〈派遣職員〉も招き、地元の人との交流や楽しみの場を提供できる内容を心掛けた。

大槌町は津波で、町長と教育長を含む40人の幹部職員(役場職員のほぼ1/3)を津波で失ったため、数多くの派遣職員に復興業務を依存しているが、昨年末、宝塚市から派遣されていた職員が自ら命を絶った。

年度末の派遣職員を送り出す際は、大槌高校吹奏楽部が「感謝のコンサート」で見送った。

今回は、4月にほとんど入れ替わった派遣職員と町の人々との交流の場とすべく、町役場の多目的会議室を会場に、町の人々の誇りである郷土芸能「神楽」と、子どものコーラス、そして盛岡に避難中の大槌のギタリストとN響と東フィル・メンバーによる金管五重奏のコンサートを中心に行つた。

コンサートに参加した派遣職員の実数は掴めないが、こころ温まる体験を胸に地元に戻られる事を期待している。

なお、7月7日に行われた全日本吹奏楽コンクール岩手県予選(大船渡市民文化会館)で、大槌小学校(4小学校が統合)、中学校、高等学校の全てが、金賞を獲得。岩手県大会に進む事となった。

実施概要

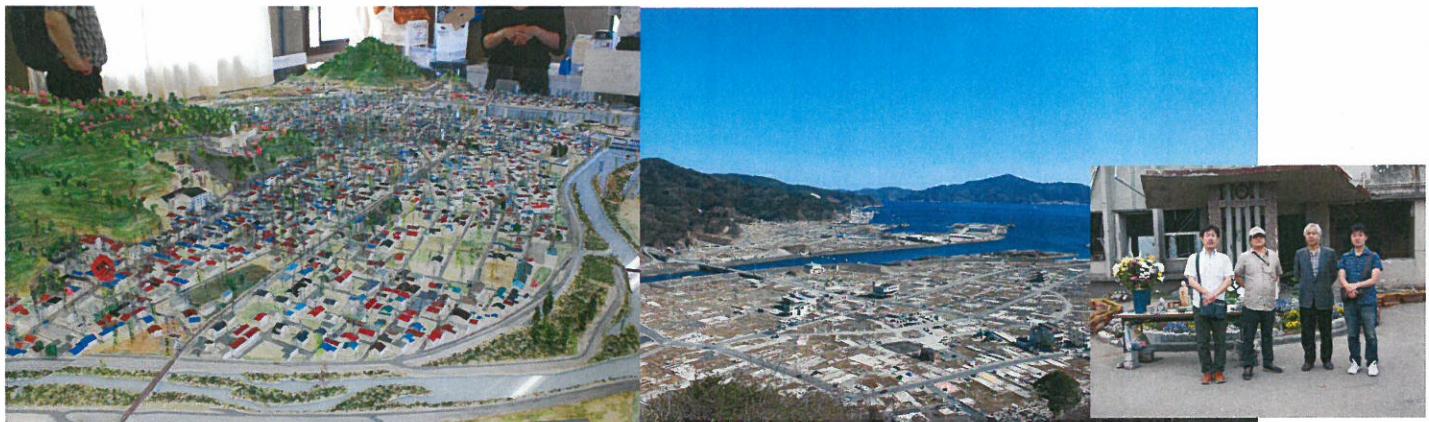
6月15日(土)	7:16	東京発 はやて101号	13:00 大槌到着
	13:30	キッズ・コーラス 〈あくどまめ〉 +金管五重奏	リハーサル
	14:00～14:30	シーサイドタウン MAST ロビーでのコンサート	
	15:00～18:30	大槌ウインド・オーケストラのクリニック (大槌中学・高校吹奏楽部のOB・OGの団体)	
6月16日(日)	9:00	会場設営	
	10:00～12:30	ゲネ・プロ(あくどまめ、ギター佐藤高寿、金管五重奏、神楽)	
	13:30～14:10	松の下大神楽団	
	14:10～14:35	ギター独奏 佐藤高寿	
	14:35～15:00	キッズ・コーラス 〈あくどまめ〉 金管五重奏伴奏	
	15:00～15:30	休憩	
	15:30～16:40	金管五重奏	
	17:30	大槌発	
	19:56	新花巻発やまびこ68号	22:56 東京着

《経費報告》

項目	単価(内訳)		伝票番号	数量	小計
新幹線	往路 東京都区内⇒新花巻	11,040円	①	5	55,200
		9,090円	②	2	18,180
	復路 新花巻⇒東京都区内	8,440円	③	5	42,200
	新花巻⇒東京都区内	9,090円	④	2	18,180
レンタカー	ワゴン1台 新花巻--(釜石経由)--大槌 ⑤			2日	24,150
ガソリン代	145円		⑥	20.16	2,923
駐車料金	500円		⑦	1	500
ホテル代	7,400円		⑧	7	51,800
合計					213,133

「心の復興音楽基金」助成対象外経費 3名 計 106,940 円
(新幹線 ホテル代 レンタカー代 ガソリン代)

大槌訪問写真記録 2013. 6. 15～16



震災前の大槌の家並が模型で再現されつつある 神戸大学生の労作 いまの大槌と、町長と教育長を含む40人の職員が犠牲となった町役場で



廃校になった小学校校庭は、警察・消防・国土交通省整備局などの仮設舎屋

消防車、救急車とパトカーはテントの下

6月15日(土)



何もない会場に、学校と個人の音響機材を大量に持ち込んだのは、
大槌高校吹奏楽部顧問の先生。

今回の会場は「大槌町役場・多目的ホール」。

津波と火災に遭った大槌小学校を改修。

校舎は役場に、体育館は〈会議室〉の名目で予算が降りたという。



大槌に暮らす人のライフ・ライン、シーサイドタウン〈MAST〉で。場内アナウンスを中止するため、30分限定ライブ。

銀行3店、司法書士、災害FM、内科医院・薬局、マッサージ、書店、コインランドリー、美容院、食堂、まちの情報センターが集積



大槌中学と高校吹奏楽部 OB・OG で旗揚げ間近の「大槌ウインド・オーケストラ」のレッスン!!
町を去る人が後を絶たない中、楽しみとやりがいを
求めて・・・若者に出来る事を

6月16日(日) 槇音コンサート in 大槌 (大槌町役場・多目的会議室)



大槌の誇りは”祭り”。15,000人（現在11,000あまり）の町に、30余りの「虎舞」と10の「神楽」集団。 それぞれのコミュニティーの絆を形成してきた



被災した両親と盛岡に避難中のギ
タリスト佐藤高寿さん。震災が、
歌とギターに呼び戻した・・・

震災の夏、ユニセフに招かれ盛岡で
歌ったキッズコーラス「あくどまめ」

プロの金管を伴奏に・・・ 「あくどまめ」とは、鬼ごっこで小さい子がいつも
鬼になることを避けるための大槌のルール



最後はN響と東フィルメンバーの金管五重奏。バッハからジャズ、アイルランド民謡、
久石譲作品まで・・・60分



アンコールは全員で「ひよっこりひょうたん島」
大槌ウインドも飛入り参加



子供たちから、手作りメッセージが渡され笑顔に涙が・・・



大槌でN響メンバーが参加し演奏会～地元の子供たちの合唱団と共に演

2013年6月21日

ひょうたん島日記 (2013.06.21)



子供たちの合唱団と金管五重奏団が共演しました＝6月16日、旧大槌小体育馆

NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーが参加した「槌音コンサートin大槌」が6月16日、旧大槌小学校体育馆で開かれました。地元の子供たちの合唱団と共に演したり、郷土芸能が演じられたり、郷土色豊かな演奏会になりました。

参加したのはN響から4人、東京フィルから1人。トランペット、ホルン、トロボーン、テューバ奏者の金管五重奏団です。大槌町からは松の下太神楽、キツコーラスあぐどまめ、ギターソロの佐藤高寿さんが出演しました。

「あぐどまめ」の合唱の際には、金管五重奏による伴奏が行われ、子供の合唱団とプロの演奏家とのコラボが実現しました。休憩をはさんで行われた金管五重奏団の演奏では、バッハカンタータ「主よ、人の望みの喜びよ」、アイルランド民謡「ロンドンデリーの歌」など、幅広い音楽が奏でられました。

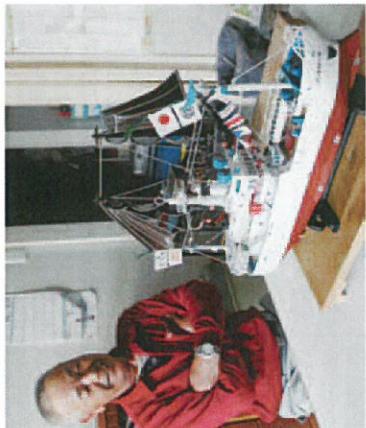
金管のメンバーの方々は震災直後から大槌中学校吹奏楽部に楽器を寄付するなど、被災地を支援する活動をしており、その縁から今回のコンサートにつながりました。今年の合同慰靈祭でも演奏を披露しているNHK交響楽団の吉川武典さんは「私は大槌という町が好きです。町民の皆様の前で演奏することが出来てうれしい」と話しました。聴き入っていた岩間住恵子さんは「金管五重奏は目をつぶるとハーモニーがすごかった。またこのようなコンサートを開いてほしい」と語りました。

主催した槌音プロジェクトの臺（だい）隆明さんは「音楽に言葉も国境もない。大槌の眞の復興に音楽が必要です」と開催の趣旨を説明してくれました。

お問い合わせ

総合政策部
復興まちづくり班
電話：0193-42-8724

がれきを利用してマグロ船の模型 半年かけて赤浜の岡谷さん



大槌町赤浜の仮設団地に住む岡谷悦雄さん（70）は、がれきを利用して、遠洋マグロ漁船や漁船の模型をつくりました。模型には、かつて、マグロ漁船に乗組んでいた岡谷さんの思い出がいっぱい詰まっています。

遠洋マグロ漁船の模型は「第一阪洋丸」。島子と孫の名前から一文字ずつつとつけて付けました。乗組員時代に使っていた小刀で、がれきになつた流木を削り取り、記憶をたどりながらつくりました。約500トン、乗組員20人ほどの漁船の模型です。完成まで半年ほどかかりました。

岡谷さんは18歳の時から約40年間、遠洋マグロ漁船の乗組員でした。アフリカ沖へ、オーストラリア沖へ…。マグロを追いかけて、全国各地の港から漁場へと向かいました。出漁すると、長期間、自宅には戻れませんでした。

しかし、辛いと感じたことはなかったと言います。

岡谷さんは震災による津波で、赤浜の自宅を流れ去りました。白地の漁船の後には、焦げ茶色の帆船をつくりました。「屋根しがだよ。人に見せるほどのものじやない」。岡谷さんは、そう講述しながら、懐かしそうに漁船をながめています。

「奇跡のコメ」田植え 羽ばたけ安渡復興米



「安渡産大槌復興米」の田植えが5月25日、大槌町小鉢の仮設団地の一角でありました。津波で大槌町安渡地区に流れき、がれきの中で生出した「奇跡のコメ」。昨年、収穫した5.5キロすべてを種もみにして、今年は480キロの収穫をめざしています。

震災が起きたその年の秋、安渡地区に住んでいた菊池妙さん（72）は、津波で流された自宅玄関脇で、自分でいる稻を見つけました。灘をかぶつせいが、背は低く、やせ細っていました。菊池さんは、その姿に感動し、とめどなく涙を流したそうです。このコメを復興のシンボルにできないか。刈り取って「安渡産大槌復興米」と名付け、150株の苗を作ることに成功しました。

菊池さんは「復興米」にこう呼びかけました。「貴方にばは復興米と名付けましたよ。お互い助かった命を、大切に明るく、やつくりやりたいのです。転んでは起き、また、転んでは起き歩いて行きましょうね」昨年、この苗から5.5キロの種もみを収穫しました。今年は、この種もみから育てた苗を、約1000平方メートルの広い田んぼに場所を移して田植えをしました。5月25日、地元の人たちや、被災地を支援している遠野市の「遠野まごころネット」のボランティアの人たち約30人が、素足で田んぼに入り、手植えしました。今年秋に、コメ16袋（1袋30キロ）を収穫することをめざしています。

コメ作りを指導している「遠野まごころネット」の農業

鈴木一彦さん（61）は「ブランド化して全国に発信したい。復興のシンボルにしたい」と話しています。菊池さんはこう語っています。「よくぞここまで育ってくれました。お

コメに勇気と希望をもらいました。津波に耐えた」「安渡

産大槌復興米」は、大きく羽ばたこうとしています。

N響メンバーが参加し演奏会 子どもたちの合唱団と共に



NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーが参加した「鳴音コンサート㏌大槌」が6月16日、旧大槌小学校体育館で開かれました。地元の子供たちの合唱団と共演したり、郷土芸能が演じられたり、郷土色豊かな演奏会になりました。

参加したのはN響から4人、東京フィルから1人。トランペット、ホルン、トロボーン、チューバ奏者の金管五重奏団です。大槌町からは松の下太神楽、キツコーラスあくどまめ、ギターソロの佐藤高寿さんが出演しました。「あくどまめ」の合唱の際には、金管五重奏団による伴奏が流れ、子供の合唱団とプロの演奏家とのコラボが実現しました。休憩をはさんで行われた金管五重奏団の演奏では、バッハカンタータ「主よ、人の望みの喜びよ」、イルランド民謡「ロンドンデリーの歌」など、幅広い音楽が奏されました。

金管のメンバーの方々は震災直後から大槌中学校吹奏楽部に樂器を寄付するなど、被災地を支援する活動をし、その様から今回のコンサートにつながりました。今年の合奏主催した鳴音プロジェクトの臺隆明さんは「音楽に言葉も国境もない。大槌の震災の復興に音楽が必要です」と催促の趣旨を説明してくれました。

●話典には例えば、次のような言葉が収録されています。
「お夜おでんせ」／猫を呼ぶ時の「たあたあ！」／一般的な呼び声「のらす」／馬鹿にする、「ばあ！」／驚いたり呆れ返つたりした時に思わず発する言葉▽「まやまや」／動作が緩慢で、幽雅今までに繋りなさうな様▽「もよお」／衣類を身に付ける。

蘇った「吉里吉里語辞典」 関谷さんが収録した7000語復刻

井上ひさしの小説「吉里吉里人」で有名になつた大槌町吉里吉里地区の日常語を收めた「復刻版 吉里吉里語辞典」が出版されました。辞典は地元の関谷徳吉さん（81）が2007年に編纂しました。しかし、震災による津波で流失し、明治学院大学のボランティアの支援で内容を充実させ、復刻にこぎつけることが出来ました。

関谷さんは10年ほどかけて、こつこつと拾い集め、75歳のときに、「いとしくおかしく懐かしく私の吉里吉里語辞典」を出版しました。7000語ほどの言葉が収録され、貴重な民俗資料と評価されました。

1000部作り、残った400部ほどの在庫が、津波で自宅とともに流れました。途方に暮れていた関谷さんにボランティアで入っていた明治学院大学の浅川達人教授や学生たちが熱い手を差し伸べました。津波で流された写真や本などの教出活動をしていた学生が、1冊の吉里吉里語辞典を発見し、復刻への足掛かりになりました。関谷さんは、こう言っています。「標準語が普及し、若い人たちから吉里吉里語も失われつつあるのは寂しい。私ははいとしく、おかしく、懐かしい言葉です。復刻されて歓喜です」

槌音コンサートin大槌

NHK交響楽団&東京フィルハーモニー交響楽団メンバーによる

金管五重奏団



井川明彦
NHK交響楽団
トランペット奏者



安藤友樹
東京フィルハーモニー交響楽団
トランペット奏者



今井仁志
NHK交響楽団
ホルン首席代



吉川武典
NHK交響楽団
トロンボーン奏者



池田幸広
NHK交響楽団
チューバ奏者

大槌の郷土芸能・町民と子供達とのコラボ企画



カッパブルーラスあいとまめ



ギタープロ 佐藤 高寿



松の下 大神率

入場無料!!

6月16日(日)

13:00開場 13:30開演

大槌町役場多目的体育館
(旧大槌小学校体育館)

大槌から感謝と元気を発信する
《音楽ホール槌音プロジェクト》

主催 槌音プロジェクト 共催 NPO法人「日本の道」
後援 大槌町、助成 心の音楽復興基金